

土地改良事業計画書

1. 目 的

本地区の水路を整備することにより農業の振興、農業用水の安定供給と集落及び地域の活性化を図る。

2. 地域、地籍及び現況

(1) 所 在 高松市円座町 地内

(2) 地 積 受益面積 5.4 ha 関係戸数 25 戸

(3) 現 況 当地区は、高松市円座町の中央部に位置した、水田地帯であり、水稻が中心の営農であり、地区の水路は、要幹線水路であるが勾配不均整な上、コンクリートの劣化が見られる為、漏水が顕著に現れるなど、円滑な配水に苦慮している。併せて、大雨時等には放流にも支障をきたしている。

3. 一般計画

- ・ 本地区の1戸当たり平均耕作面積は、22アールで土地が分散しているため、生産基盤が未整備である。
- ・ 水路の整備をすることにより、地域農業の振興と生産性向上のため、維持管理の軽減を図る。
- ・ 県道282号線と国道32号線とに囲まれた水田地域であり、緑豊かな田園地帯であることから、周辺の環境に配慮した整備とする。

4. 主要工事計画

(1) 水路延長 110 m 起点：高松市円座町508-1

終点：高松市円座町478

(2) 水路断面 $B = 0.30 \sim 0.65 \text{ m} \times H = 0.5 \text{ m}$

(3) 構 造 三面コンクリート水路

5. 付帯工事計画

該当なし

6. 工事の着工及び完了予定期間

着 工 令和8年10月1日

完 了 令和9年3月31日

7. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮は、自然の生態系を保全しつつ、農地の持つ多面的機能や自然環境を維持するよう整備を進める。

8. 本施設の維持管理

本施設の維持管理については、小田奈良須両池土地改良区において管理する。

9. 事業費の総額及び内容

(1) 事業に要する費用

区 分	金 額 (千円)	備 考
工 事 費	11,712.80	
用地買収補償費	-	
測 量 試 験 費	1,287.20	
工 事 雑 費	-	
事 務 費	-	
計	13,000	10a当りの事業費 240,741 円

(2) 資金計画

区 分	金 額 (千円)	備 考
補 助 金	国 補 助 金	-
	県 補 助 金	6,760
	市 補 助 金	5,850 事業費の45%
	小 計	12,610
地 元 負 担 金	受益者負担金	390
	借 入 金	- 農林漁業資金 利率 償還期間 賦課基準
	小 計	390
計	13,000	

10. 事業効果

区 分	金 額 (千円)	
作 物 生 産 効 果	1,506	n : 40 総合耐用年数
維持管理節減効果	266	T : 1 事業着手から効果発生年数
走行費用節減効果	0	i : 0.04 割引率
そ の 他	-	資本還元率 : $i(1+i)^n / (1+i)^n - 1$
年 総 増 加 額 計	1,772	建設利息率 : $0.03 \times 0.4 \times 0.065 \times T$
廃 用 損 失 額	-	農家負担率 : 0.03

$$\begin{aligned} \text{妥 当 投 資 額} &= \text{年総増加額計} \div [\text{資本還元率} \times (1 + \text{建設利息率})] - \text{廃用損失額} \\ &= 1,772 \div [0.0505 \times (1 + 0.0008)] - 0 \\ &= 35,089 \end{aligned}$$

$$\text{投 資 効 率} = \text{妥 当 投 資 額} \div \text{総 事 業 費} = 35,089 \div 13,000 = 2.69$$

※投資効率の基準値は1.00以上とする。

11. 計画図

(1) 位置図

別紙のとおり

(2) 平面図

別紙のとおり

(3) 標準断面図

別紙のとおり

事業主体	小田奈良須両池土地改良区			作付状況及び計画	
地区名	横内	地区		現況	計画
事業費	13,000	千円	表	2.2	2.9
工種	水路		裏	1.2	1.6
工事延長	110	m	果樹・工芸作物	0.0	0.0
受益戸数	25	戸	チェック表	OK	OK
受益面積	5.4	ha		OK	OK
内樹園地		ha		OK	OK
維持管理費	2,300	円/10a			



※但し①現況水稻の作付け率は受益面積の6割以内で3.2ha以内の作付けとする。

②作付現況及び計画は表・裏共受益面積を超えて計画出来ない。

③水稻の作付けは現況を増やすことは出来ない。

④チェックでコメントが出ると作付状況を見直す。

番号	表・裏	作物名	現況	計画	増△減	増加純益額	増加純益額	増加純益額	効果要因
			① ha	② ha	③=①-② ha	④ 円/10a	円	(合計) 円	
1	表	水 稻	2.0	2.5	0.5	56	1,000	1,000	②×④干害防止効果
2	表	きゅうり	0.2	0.4	0.2	166,104	664,000	1,077,000	②×④田畑輪換
						206,870	413,000		③×④作付面積増
3	裏	小麦	0.7	0.9	0.2	1,804	16,000	16,000	②×④田畑輪換
						0	0		③×④作付面積増
4	裏	ブロッコリー	0.5	0.7	0.2	44,192	309,000	412,000	②×④田畑輪換
						51,800	103,000		③×④作付面積増
							計	1,506,000	

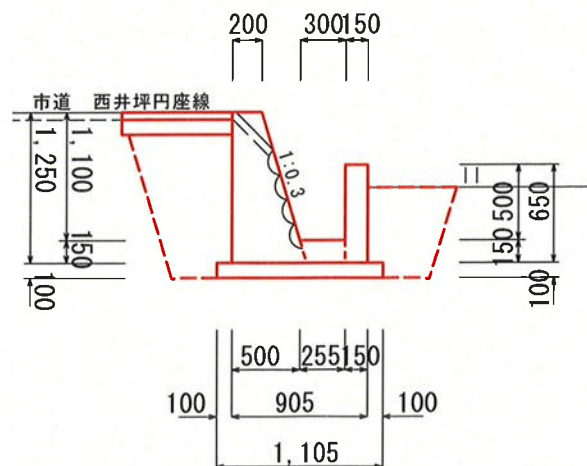
[illegible]

横内地区 平面図 S=1:1500



横内地区

水路工 L=110m
(2号線L=60m)



横内地区

水路工 L=110m
(1号線L=50m)

